



2013年3月 記載要領変更に伴う改訂

第2類
医薬品ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。

エミネトンは…

増血薬
エミネトン®

- 貧血の改善に効果のあるフマル酸第一鉄、ビタミンB₁₂を配合した増血薬です。
- 胃を荒らさないように、銅クロロフィリンカリウム、銅クロロフィリンナトリウムを配合しています。
- 鉄分の吸収を高めるビタミンCを配合しています。



使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)
本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
他の貧血用薬



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
便秘、下痢
4. 2週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

〔効 能〕

- 一般の鉄欠乏及び諸疾患に伴う貧血
- 妊娠時の貧血
- 小児の栄養障害による貧血、虚弱児・腺病質児・發育不良児の増血及び栄養補給
- 寄生虫性貧血
- 貧血に原因する全身倦怠・動悸
- 病中・病後の増血及び回復促進

〔用法・用量〕

下記の1回服用量を食後に服用します。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
大人(15才以上)	2～3錠	2回
7～14才	1錠	
7才未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 服用の前後30分はお茶・コーヒー等を飲まないでください。
- (3) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

〔成分・分量と働き〕1錠中

成 分	分 量	働 き
〔内 核〕		
フマル酸第一鉄	90mg	鉄は赤血球中に存在し、酸素を運ぶヘモグロビンの構成要素で、貧血に効果があります。
硫酸銅	0.35mg	ヘモグロビンの合成を助けて貧血に効果をあらわします。
硫酸コバルト	0.15mg	コバルトは骨髄で造血に不可欠なビタミンB ₁₂ の構成元素です。
硫酸マンガン	0.05mg	糖質・脂質・たん白質の代謝に役立ち、エネルギーづくりに関与しています。
〔外 層〕		
ビタミンB ₆	3mg	赤血球のヘモグロビン合成をうながします。
ビタミンB ₁₂	10μg	
ビタミンC	60mg	鉄分の吸収を高めます。
ビタミンE酢酸エステル (トコフェール酢酸エステル)	5mg	赤血球の生成をうながします。
葉酸	1mg	
銅クロロフィリンカリウム	1.66mg	胃粘膜を保護して、胃への負担をやわらげます。
銅クロロフィリンナトリウム	1.66mg	

添加物として、乳糖、パレイショデンプン、ヒドロキシプロピルスターチ、ステアリン酸Mg、タルク、ヒドロキシプロピルセルロース、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、リン酸水素Ca、セルロース、無水ケイ酸、CMC、硬化油、ポリビニルアセタールジエチルアミノアセテート、ゼラチン、アラビアゴム、炭酸Ca、白糖、酸化チタン、ポピドン、ジメチルポリシロキサン、二酸化ケイ素、黄色5号、赤色3号、カルナウパロウを含有します。

《成分・分量に関連する注意》

- (1) 本剤の服用により、尿及び大便の検査値に影響を与えることがあります。医師の治療を受ける場合は、ビタミンCを含有する製剤を服用していることを医師に知らせてください。
- (2) 本剤は鉄分を含有するため、本剤の服用により、便の色が黒くなることがあります。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



◎貧血気味の方へのアドバイス

- 偏食やダイエットなどは鉄分が欠乏しやすいのでバランスのとれた食事を心がけましょう。
- 胃腸の機能が低下すると鉄分が吸収されにくくなりますので、胃腸の病気を早く治すようにしましょう。
- 鉄分を多く含む食品(肉、レバー、魚貝類、豆類など)を積極的にとるように心がけましょう。また、ビタミンCを多く含む食品(果物、野菜など)と一緒に摂取することでより鉄分の吸収が高まります。

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03 (5412) 7393
受付時間：9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号